

学校の未来を考える会 vol.05



日頃より、本市の教育行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今号では、5月24日（金）に開催した **第4回 浮島中学校区学校の未来を考える会** の様子をお知らせします。

これまでの会議の内容について



令和6年度初めての「学校の未来を考える会」ということで、第1回～第3回会議の内容や委員の皆様から出されたご意見についての確認を行いました。

	8月3日（木）	地域説明会を開催（浮島地区に住んでいる方全員が対象） ・学校規模・学校配置の適正化の取組、浮島中学校区の現状、今後の方向性として3つの案（現状維持・施設一体型小中一貫校化・他の中学校区の学校との統合）を提示
第1回	9月27日（水）	・委員委嘱 ・事務局から「学校の未来を考える会」の設置目的、市内のこれまでの取組状況などについて説明 ・子供たちにとって望ましい教育環境について意見交換 ・今後の協議に必要な資料や不明な点についての共有
第2回	12月1日（金）	・渡邊枝里校長を招聘し静浦小中一貫学校の様子や、小中一貫校の概要について説明 ・現在の学校の現状について、浮島小中校長より説明 ・教育委員会から示した3つの方向性（現状維持・施設一体型小中一貫校化・他の中学校区の学校との統合）のメリット・デメリットについて、グループワーク形式で意見交換
第3回	2月14日（水）	・市内でこれまで適正化の取組を行った地域のアンケート結果や浮島中3年生の意見を参考に、グループワーク形式で意見交換

また、これまでの意見交換の内容から、以下の2点については、多くの委員の意見が一致しているということを確認しました。

- ① **浮島地区に学校を残し、地域の特色・魅力を子供たちに残していきたい。**
そのためには、「学校規模・学校配置の適正化」を学校だけの問題ではなく、地域として地区の良さや魅力を発信したり盛り上げていったりする取組を、多くの地域住民が関わって行っていく必要がある。
- ② **浮島小・中学校の小規模化によるデメリットの改善が必要である。**
児童生徒数の減少により、学級数が減っており、それによる制約やリスクが発生している。教育の質を担保するために教育活動を工夫しているが、配置される教員の数は限られているため、人手が足りない現状を改善していく必要がある。

意見をまとめる上で大事にしたい3つの視点

これまで、会議を重ね、委員の皆様にご意見交換を活発に行ってきました。第5回会議では、学校の未来を考える会として教育委員会に検討した内容を報告としてまとめていきます。報告する際に、大事にしたい3つの視点を確認しました。

- 【視点1】 保護者の声を尊重し、現在及び未来の子供の利益を最優先すること
- 【視点2】 地域コミュニティの維持・活性化への視点
(地域と連携した学校運営の実現・コミュニティ・スクールの推進)
- 【視点3】 制度的・政策的に実現可能である。

次回の会議では、上記3つの視点でこれまで委員の皆様から出された意見をまとめ、会としての報告を作成していただきます。

その他のご意見など

これまでの協議では、小中一貫校化に関する意見が多かったため、仮に小中一貫校化した場合の要望や不安な点についてご意見が出されました。

- ・ハード面の整備も必要になるが、子供同士の交流や、擬似的に今の校舎を使って生活してみるなどの経験を重ねながら、子供たちが少しずつ新しい環境に慣れていけるようにしたい。
- ・これから学校の形が変わっていったとしても、地域と学校が協力していける浮島地区になればよいと思う。
- ・幼児教育施設も含め、小学校、中学校で連携できることは進めていけるとよい。
- ・地域が同じ方向を向いて、一体となって準備を進めていけるように、地域や保護者の意見を聞き、説明をする機会を設けてほしい。
- ・地域の問題は、地域の人で話し合い、意見を出し合っていきたい。



詳細はホームページ
をご覧ください



第5回会議

浮島中学校区 学校の未来を考える会

日時：7月18日(木) 19時から

場所：浮島地区センター 1階大会議室

内容：教育委員会に報告する内容、
今後のスケジュール など

傍聴可能です。直接会場へお越しください。

発行

令和6年6月発行

沼津市教育委員会 教育企画課

沼津市御幸町16-1

電話：055-934-4821

FAX：055-931-8977

E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp